

令和5年度秋田県総合政策審議会 第3回産業・雇用部会 議事録要旨

1 日 時：令和5年9月7日（木）13：30～14：30

2 場 所：秋田県庁第二庁舎3階 31会議室

3 出席者

【産業・雇用部会委員】

株式会社ドレッシング・エー 代表取締役 伊藤 明子

株式会社 See Visions 代表取締役 東海林 諭宣

株式会社フォラックス教育 代表取締役 高橋 美佳子

株式会社フルヤモールド 常務取締役 古谷 美幸

【県】

産業労働部 次長 佐藤 功一

他 各課室長 等

4 東海林部会長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。今年の夏は、大曲の花火に県外から24名のお客様をアテンドし、非常に喜んでいただいたところであり、このように秋田のファンを増やしていきたいと考えている。また、徐々に飲食店に人が戻ってきている状況であり、秋田県の飲食店でもコロナ禍の融資の返済が始まっている。非常に苦しい時期ではあるが、皆様と秋田に貢献できることを一生懸命考えていきたい。

5 議事

● 東海林部会長

それでは議事に入る。

議事(1)今年度の提言に向けた検討について、意見交換を行う。提言毎に事務局から説明をお願いする。

□ 佐藤参事（兼）産業政策課長

・資料-1「提言書（案）」により、提言1について説明

● 東海林部会長

それでは質疑に入る。事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

続いて提言2について説明をお願いします。

- 佐藤参事（兼）産業政策課長
 - ・資料-1「提言書（案）」により、提言2について説明

- 東海林部会長
 - それでは質疑に入る。先ほどの事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

続いて提言3について説明をお願いします。

- 佐藤参事（兼）産業政策課長
 - ・資料-1「提言書（案）」により、提言3について説明

- 東海林部会長
 - それでは質疑に入る。先ほどの事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

続いて提言4について説明をお願いします。

- 佐藤参事（兼）産業政策課長
 - ・資料-1「提言書（案）」により、提言4について説明

- 東海林部会長
 - それでは質疑に入る。先ほどの事務局の説明に対して、質問や意見等はないか。

（質問や意見等なし）

提言書の最後の取りまとめについては、私に一任いただくことでよろしいか。

（異議なし）

続いて議事(2)その他に入る。今回で部会は最後になるので、最後に皆様から、一言ずつ本部会に参加して感じたことを簡単にお話いただきたい。

◎ 伊藤委員

一度秋田を離れた若い人たちの中にも秋田に戻って就職しても良いと思う人が増えたり、秋田で暮らすことが格好良いと思うような環境作りが必要だと思う。それにはまず、秋田に実際に住んでいる私たちが、アクティブで元気に働いていることが大切だと思うので、私も色々なことにチャレンジしながら、積極的に頑張っていきたい。

◎ 高橋委員

先日の県民意識調査では、県民から厳しい評価があった項目として、賃金水準の向上、若年女性の県内定着・回帰及び魅力のある職場づくりで十分ではないという評価であった。

一方で、過去に県のあきた未来創造部で実施した大学生を対象にしたアンケート調査によれば、秋田県内に就職しても良いと思っている学生も一定数いるようだ。その理由として「地元で働きたい企業があるから」「家族がそばにいるから」「秋田に貢献したいから」というような意見が多かった。秋田に愛着を持つ若者は多く、思っているほど現在の状況は悲観的でないと思う。賃金水準の向上などなかなか結果が出ない項目もあるが、事業を継続的に進めていくことが重要だと思う。

◎ 古谷委員

自分たちの意見をまとめて一つの提言にするという貴重な経験をさせていただいた。課題は多くあるが、今の子どもたちの未来が明るくなる道作りを我々が担うことができたら良いと思う。「秋田はいいところだよ」「一度出て行っても戻ってこい」といったような意気込みでまちづくりをしていくことが重要だと思う。

● 東海林部会長

女性の活躍という部分においては、我々の部会は非常に躍進していると思う。民間の手法と行政の手法が違い、難しさを感じたこともあった。ITであったりIoTといった分野については、進展がかなり早くなっており、行政も大変だと思うが、スピード感を持って対応していただきたい。秋田県に県外からお越しいただくと、多くの方に魅力を感じていただけるようだ。伸び盛りの分野を誘致するだけでなく、秋田ならではの事業を増やしていくことも重要だと思う。

● 佐藤次長

委員の皆様におかれましては、昨年度から御協力いただき感謝申し上げます。本日いただいた提案は来年度の施策にもできる限り反映させて、県の発展のために尽くしてまいります。

新型コロナウイルス感染症も5類になったがまだ流行が続いている上、ウクライナ情勢もあり経済の状況も先が見通せないことから、行政にできることがあればお声がけい

ただきたい。産業分野は民間が主役なので、行政が独りよがり政策を進めても、駄目だ
と思う。民間の方々の力も借りながら、政策を進めて行きたい。

6 閉会

● 東海林部会長

それでは本日の議事をすべて終了する。

—— 議事終了 ——